

京都市交響楽団 東京公演

Kyoto Symphony Orchestra Concert in Tokyo

「黄金時代」を謳歌する円熟の名コンビ京響=広上、6年間の集大成がここに！

文化芸術都市・京都が世界に誇るオーケストラ、京都市交響楽団が第12代常任指揮者・広上淳一の指揮のもと満を持して挑む、4年ぶり待望の「東京公演」！偉大なロシアン・ピアニズムの伝統を継承する妥協なき名ピアニスト、ニコライ・ルガンスキーをソロに迎えた王道のラフマニノフと、若きマーラーの傑作、交響曲第1番「巨人」という意欲あふれるプログラムで、東京の聴衆へ京響の魅力を熱くアピールします。2008年に広上淳一が常任指揮者就任以来、快進撃を続ける京響=広上が築き上げた「黄金時代」6年間の集大成を、どうぞお聴き逃しなく！



Photo: Greg Saito

指揮 広上 淳一(常任指揮者) Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィルハーモニー管、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。91~95年にはノールショピング交響楽団、98~2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、97~2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、91~2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー響、ポルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィルハーモニー管、サン・パウロ響等へ客演。06~08年には米国コロンバス交響楽団音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともにDenonレーベルにはチャイコフスキーの録音を残し、その実力を内外に知らしめた。07年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル本所に招聘され、ハイドンとラフマニノフ、08年5月には小澤征爾の代役として急遽、水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムでともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。13年1月「第32回藤堂音楽賞」受賞。08年4月から京都市交響楽団常任指揮者。



Marco Borggreve Naïve-Ambrosie

ピアノ ニコライ・ルガンスキー Piano : Nikolai LUGANSKY

既に一流アーティストに名を連ねているニコライ・ルガンスキーを、かつての師、タチアナ・ニコラーエワは、ロシアの偉大なピアニストの系譜を継承する「次なるピアニスト」と賞賛した。ラフマニノフの解釈には定評があり、チャイコフスキー国際コンクール(1994年)をはじめ、数々の国際コンクールで最高位を獲得している。パリ管、フランス国立管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バーミンガム市響、ドレスデン・シュターツカペレ、フィルハーモニア管、シンシナティ響、サンクトペテルブルク・フィル、フィラデルフィア管などから頻りに招かれ、幅広いプログラムを演奏している。昨シーズンはデュトワ指揮シカゴ響、ユロフスキ指揮ロンドン・フィル、ネルソンス指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管のほか、N響やフィラデルフィア管と共演し、2012/13年シーズンはデュトワ指揮ニューヨーク・フィル、デ・ブルゴス指揮パリ管、プレトニョフ指揮バンベルク響、ノセダ指揮ロンドン響などと共演を予定している。また、レーピンやカヴァコスらとの室内楽も演奏し、BBCプロムス、ラ・ロック・ダンテロン、ヴェルビエ、エディンバラなどの国際音楽祭にも出演する。リサイタルも、パリ(シャンゼリゼ劇場、サル・プレイエル)、ロンドン(バービカン・センター、ロイヤル・フェスティヴァル・ホール、ウィグモアホール)、アムステルダム(コンセルトヘボウ)、ウィーン(ムジークフェライン、コンツェルトハウス)、ベルリン(フィルハーモニー)、ニューヨーク(リンカーン・センター)、でのチケットはいつも多くが完売している。レコーディングも高く評価されており、ワーナーからリリースされたショパンのエチュードと前奏曲全作品集、さらにラフマニノフの「前奏曲」と「楽興の時」のCDで、ディアパン金賞を受賞。また、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番と第3番の録音は、ドイツ・レコード批評家賞と2005年エコー・クラシック賞に輝いた。2010年にはショパン・アルバムが、2012年にはリスト・アルバムがオニキスからリリースされている。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年からは「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスクバリー」など新企画で注目を集めている。録音では、広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CD第1弾を10年11月、第2弾を12年2月に発売し、13年9月には最新盤となる第3弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

「広上淳一指揮 京都市交響楽団定期演奏会 名曲ライブシリーズ3」

京響=広上による完全燃焼のステージを収録した、ライブ録音CDアルバム第3弾！



名曲ライブシリーズ3
KSOL-1004

指揮：広上 淳一(京響常任指揮者) 管弦楽：京都市交響楽団
収録曲目：R.シュトラウス：13管楽器のためのセレナード変ホ長調op.7
R.シュトラウス：交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」op.28
R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲
(以上3曲、2012年7月20日開催「第559回定期演奏会」ライブ録音)
ハチャトゥリアン：組曲「仮面舞踏会」(2013年3月24日開催「第566回定期演奏会」ライブ録音)

※京響自主公演会場、Amazon、全国主要CDショップで発売中！(税込1,500円)

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション 協賛：ローム株式会社

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロ・オーケストラの活動を支援しています。

第1弾と第2弾も
好評発売中！



名曲ライブシリーズ
KSOL-1001/2(2枚組・税込2,000円)



名曲ライブシリーズ2
KSOL-1003(税込1,500円)